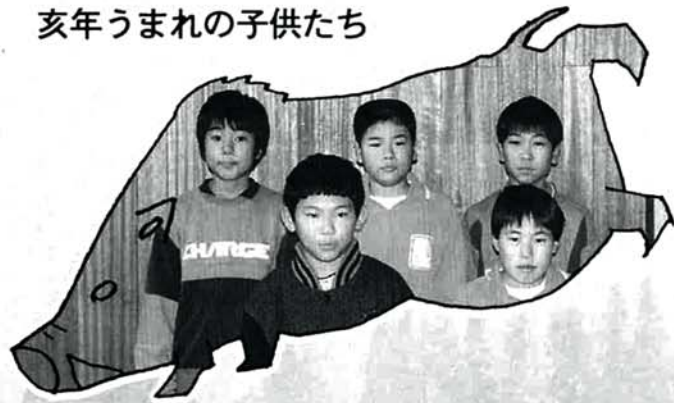


亥年うまれの子供たち



あけまして  
おめでとう  
お正月



東竹沢小学校児童

人口の動き  
(6.11.30現在)

■人口 2,695人(+1) 男 1,354・女 1,341 ■世帯数 759(-1)  
■11月中のうごき □出生1 □死亡0 □転入6 □転出6

## お知らせ

平成7年度  
克雪住宅整備  
事業補助申込みは  
一月末日まで

冬期の居住環境の向上と雪下ろしに伴う負担の軽減と危険防止を図るため「克雪住宅普及促進事業補助金」の交付を行います。  
補助事業の対象となるのは、平成七年に克雪住宅(融雪式・落雪式・耐雪式または、それらの組合せ)を村内に新築増改築し居住する者で、村税等を完納している者です。  
補助対象工費は、二五〇万円を限度とし、補助金の額は対象工費に〇・一七六を乗じて得た額で、四四万円が限度となります。  
希望者は工事費見積書や図面を添えて、一月末日までにお申し込みください。  
総務課企画係 ☎59-2330

## 調理師の皆様へ!

働いている調理師は、就業届を出すことになりました。

近年、国民の食生活における外食依存の傾向が高まっており、飲食店等において調理の業務に従事する調理師の皆様方が国民の食生活に果たす役割は、ますます重要になってきています。  
このため、皆様方の資質の向上を目的とする研修等の事業が円滑に実施できるよう、調理師法の一部を改正し、就業する調理師の届出制度が創設されたものです。  
このような法律改正の趣旨を十分御理解いただき、就業届に是非とも御協力ください。

### ◎届出の必要な調理師

次のところで調理の業務に従事している調理師  
・飲食店営業、喫茶店営業、魚介類販売業、そうざい製造業  
・寄宿舍、学校、病院、事業所、福祉施設、老人保健施設、矯正施設、その他多数人に飲食物を調理して供与している施設

### ◎届出の期限

平成6年12月31日現在の状況を記入して、平成7年1月15日(日曜日、祝日、国民の休日等を除く)までに届け出てください。

### ◎届出の場所

就業届受受理機関として新潟県知事が指定をした社団法人新潟県調理師会本部又は調理師会支部事務局へ届けてください。

### ◎問合わせ

詳しくは、次に問合わせてください。  
・社団法人新潟県調理師会  
〒951 新潟市学校町2番町598番地 斉藤荘  
(電話025 228 6786)  
・最寄りの保健所  
・新潟県環境保健部医務課  
〒950 新潟市新光町4番地1  
(電話025-285 5511内線2640,2641)  
新潟県・社団法人新潟県調理師会・



高床落雪式

自然落雪式の要件を満たし、かつ基礎を原則として、一体の鉄筋コンクリート造とし、当該基礎の地盤面上の高さを1メートル以上としたもの。



自然落雪式

屋根雪を人力によらずに落下させる屋根構造又は強制落雪装置を有し、かつ敷地内で雪処理できるもの。

運転者の皆さんへ  
谷側通行です

村内の小学生、中学生は十二月五日から登下校時、交通事故防止、雪崩事故防止のため谷川通行を行っています。夕暮れ時など特に気をつけて運転してください。

山古志村  
生徒指導連絡協議会

## 今月の納税(料)

国保	10期
村民税金	4期
年金	
保育料	

農業センサスに  
御協力ください  
農林水産省では、平成七年一月一日現在で、全国の農家などを対象に「一九九五年農業センサス」を実施します。  
この調査は、我が国の農業の実態を明らかにする最も基本的な統計調査です。調査の結果は、国や地方公共団体をはじめ各方面で農業政策推進などの基礎資料として幅広く利用されます。  
調査員がお伺いして、農業の経営状況などをお尋ねしますので、御協力をお願いします。  
今日を知り  
未来に活かそう  
農業センサス

3月5日(日) 古志の火まつり



### 山古志村長 酒井省吾



新年明けましておめでとうございます。  
平成七年の新春を迎え、村民皆様の御多幸御健勝を心からお祈り申し上げます。

昨年、年明けのコメ不足騒ぎが嘘のように、平穏なお正月を迎えることが出来ました。豊作による安心感が、社会生活に及ぼす影響がいかに大きなものであるか認識を新たにいたしましたところ。一方本村では昨年の干害による後遺症の、ひび割れが誘発する地じりや、養鯉池の崩壊欠壊が発生するなど災害が憂慮されています。二年続きの片寄った天候で、一昨年の冷害、昨年の干害と、村民の皆様

様には大変御苦労が重なりましたが、今年こそ災害のない、良い年でありますようお願いしております。

昨年は一年のうち三人もの首相が変わるなど、政局は混迷を極めた中で、六年越しの政治改革法が成立したのを始め、年金改革、税制改革、新食糧法及び関連法案等国民生活に大きくかかわる重要法案が成立し、また大規模な政党再編が進むなど、まさに波乱激動の明け暮れでありましたが、一刻も早く政治への信頼と、景気の回復がはかられる事を望むものであります。

敗戦の厳しい現実の中から立ち上がって、平和国家再建の途を歩み来てより今年、満五十年を数えることとなります。今では世界屈指の経済大国といわれるような発展を遂げましたが、急速な経済成長の影に、大きなひずみが生じ、特に農山漁村から若者の流出過疎の進行は深刻な問題であり、いままなおその対策が重要課題として続いております。

### あいさつ



簡易水道配水池

### 年頭の



虫亀地区

村民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

皆様には、御健勝で希望に満ちた新春を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。昨年、厚く御礼申し上げます。

平成七年を迎え、当村も間もなく町村合併から四十周年を迎えようとしている今日、昨年は春以来の干ばつにより飲料水の枯渇や田畑や養鯉池がひあがるなど、水には大変苦労した年でした。一日も早く全村に公営水道が完備となり、安心して暮らして頂けるよう議会も一生懸命取り組んで参ります。その他にも総合体育館や保健

### 山古志村議会議長 樺沢三治郎



これらの諸事業を実施して行く上で、自主財源の乏しい当村では国庫の協力が不可欠であるのは言うまでもありませんが、昨秋に成立した選挙法の改正により次の衆

法、新過疎活性化法の振興計画に基づき、この二十五年間、国庫の財政援助を受けながら、大きな事業投資を続けてまいりましたが、現状はひとり本村のみならず、全国におかたの過疎地域において、依然として人口減少が続く、地域社会の活力低下など、共通した多くの問題点をかかえております。

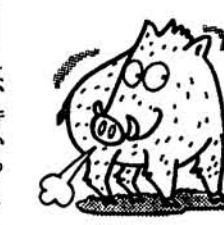
二十一世紀を目前にしたい我が国は、国際化、情報化、高度技術化、少子高齢化社会へと、急速な勢いで進みつつあります。このような時代をむかえて本村では、さきに、快適な環境づくりでひらく二十一世紀の山古志をテーマに、第三次山古志村総合計画を策定し、村政推進の方向を定めたところでありますが、この度更にこの基本構想を目標に、県の過疎地域活性化方針との整合性を保ちながら、⑦快適で魅力ある生活環境の整備、⑧夢の持てる就業の場の創出、⑨高齢化社会の先進的なシステムづくり、⑩都市との交流と連携、⑪個性豊かな地域づくりの推進の五つの項目を柱に、後期過疎地域活性化計画を平成七年度から平成十一年度まで五ヶ年の決定を見たところであります。村民皆様方の御理解と御協力によって、目標が達成されますよう、切にお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

議院選挙から小選挙区比例代表並立制が導入されます。今まで長い間、各代議士の後援会を通じて、先生方との友好関係を築き上げて陳情活動などを続けて頂き、代議士各位からは、村勢の発展に大変御尽力を頂きました。しかし、新制度では地元選出代議士は一人となるため、国政への影響が大変懸念されます。票の格差是正のため人口過密地域に代議士が集中し、大都市主導の国会になりはしないか、国土全体の均衡ある発展を考える時、当村のように大きな政治の力を必要としている過疎地域の住民ニーズが国会まで届くか危惧しながら、本当に良かったのか新選挙制度を疑問視しております。

一方、経済は戦後最悪と言われた底層を脱して緩やかな回復基調に在ると言われておりますが、円高や株安、雇用不安など不確定要素も多く、内外の政治経済社会情勢は誠に厳しいものが在ります。本年も住民の皆様への付託と御期待に添うべく、議員一同、一致協力して懸命に努力して参りますので皆様の御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

## 今年(今年)は亥年

今年(今年)は亥年(今年)は十二支の最後の干支です。十二の方向を示す十二支それぞれに動物を当てたのは中国ですから中国でも当然同じ亥年です。しかし、おもしろいことに、中国ではカレンダーなどにかかれる絵は、イノシシではなくブタの絵を見かけます。イノシシはブタの先祖ですから、同じようなことなのでしょう。さて、イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。奄美大島や沖縄などには、琉球イノシシと呼ばれている小型のものが生息しています。



猪首(イノシシ)という言葉があるように、イノシシは首が短い(口先、口元)が長く、その先に円盤状の鼻鏡があります。首から背にかけての剛毛は怒ると立つので、怒り毛と呼ばれます。雑食で、キノコやタケノコなどの植物を食べますし、ヘビやカエル、ミミズなどの動物も食べます。イノシシは夜間に食を求めて人里に現れ、栗や芋、稲などを食べてしまいます。芋は鼻鏡を巧みに使って掘り起こし、栗はきばで穴を開けて食べます。また、ぬたを打つ(ぬた)といって、体に泥を塗る習性があるので、田んぼを荒らすこともしばしばです。このため、人間はイノシシを害獣とし、畑や田んぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防ぎます。

### 人間

は、昔からイノシシをさまざまに利用してきました。肉は獣肉を食べることを忌避していた時代から、「山くじら」と呼んで食べてきました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシに噛まれたときに使ったといわれています。皮は靴用に使われましたが、それは怒り毛で縫ったようすね。

### 歳時記

年賀状は、元旦の楽しみです。さまざまの人から送られてきた年賀状を、ゆっくりとこたつに入って見る人も多いでしょう。年賀郵便特別取扱制度によって、元旦に年賀状が各家庭に配達されるのです。

### 年賀状

欧米では、クリスマス・カードにハッピー・ニュー・イヤの言葉を添えるのが普通のようです。しかし日本では、クリスマス・カードを出しても、さらに年賀状を出すという人もいます。日本人は年賀状を、年頭の大切なあいさつと考えているからでしょう。

年賀郵便の取り扱いがはじまったのは、明治三十二年です。昭和十年には、年賀切手も発行されました。戦中戦後は年賀郵便の取り扱いが中止されましたが、昭和二十三年に復活し、翌年にはお年玉つき年賀はがきも出て、年賀状の扱いも急激に増えました。最近、家庭などの写真を年賀状にするのも流行しています。また、ワープロを使って自分年賀状の文章を作ったり、あて名印刷機能を使って、住所を印刷して出したりする人も増えています。

ところで、外国に住む家族や友人からなども、元旦に年賀状が届くことがあります。なかにはホーム・ファクシミリを利用して、時差を計算して出す人もいます。外国に単身赴任をしていて、日本に戻ってこれない、お父さんに、子どもからのかわいい絵入りの年賀状を送るのもいいですね。一月二十六日は、「文化財防火デー」です。この日を機会に国民の財産である文化財の大切さを考え、火災から守るようになりたいものです。





# 亥年の抱負

東竹沢小五年生(順不同)

川上 健太くん

(川上 幸治さん方)

今年は、大会で絶対入賞したいです。また、たくさん遊びたいです。

鈴木 佑樹くん

(鈴木 昇さん方)

今年は、低学年の見本になるように、また、大会でもいろいろ賞をもらえるようにがんばります。

関 拓馬くん

(関 信一さん方)

今年は、村のいろいろな大会で入賞できるように、いい年になってほしいと思います。

藤井 茂治くん

(藤井 茂さん方)

今年は、かぜを引かないで、学校を一回も休まず、元気にくらせる年にしたいです。

小川 こずえさん

(小川 傳二さん方)

今年は、学校を一度も休まないで、元気に遊ぶようにしたいと思います。

昭和58年生れ

昭和34年生れ

田中 春子さん

虫 亀

(田中 忠雄さん方)

明けましておめでとうございます。早いもので三回目の亥年を迎えました。今年もまた、家族が健康で暮らせる事を一番に願っています。



昭和22年生れ

苺羽矢之助さん

竹 沢



明けましておめでとうございます。

仕事から村内の方々には、大変お世話になっております。山古志の住民になって、二度目の干支を迎えました。この村が「住みやすい」とは言えませんが、自然や風土が合っているのでしょうか？私は好きです。昨年は異常気象で、村内外で多大な被害が出ました。我が家も水不足のため、井戸掘りをしたところ事故が起きてしまいました。怪我をした方の一日も早い回復を願っています。

村に思う事は、公共施設の建設は、村の活性化に必要なことだと思いますが、上下水道の整備や自然環境の保存にも目を向けてもらいたいと思います。安心して住める村づくりを期待しています。

昭和10年生れ

長谷川のりさん

種 芋原

(長谷川新松さん方)

明けましておめでとうございます。新春と共に私の干支がやって来ました。健康で両親と四人で還暦を迎えることのできた幸せを、感謝しております。月日のたつのは早いもので、私が嫁いで来て早くも三〇数年の歳月がたち、今では孫に「おばあちゃん」と呼ばれて年輪を感じています。

昨年は主人、子供たちと一緒に念願の日本最高峰「富士登頂」ができたことを幸せに思っています。新年を迎え、気持ちを新たに何ひとつ不自由のない日常生活の中で、人との触れ合いを大切に「一日一膳」を心掛け、自分自身を見つめ直し、自然に恵まれた山古志の地で過ごせることを祈り頑張りたいと思います。



大正12年生れ

斎藤 一さん

池 谷



明けましておめでとうございます。早くも六回目の年男を迎える年になりました。大正・昭和・平成と長い年月を振り返りみると、いろいろなことが走馬燈のようにめぐります。大正十二年の関東大震災のときに生まれ、昭和という時代は戦争と食料不足で、一にも二にもコメコメの時代でした。ただただ時代の波に逆らわずに暮らしてきたような気がします。

これからの私の願いは、福祉年金に力を入れてもらいたい、心から願ってやみません。今年も、より良い年でありますように頑張っていきたいと願っております。

## 過疎地域活性化計画(後期)など可決される

### 第四回山古志村議会定例会

十二月九日から十四日までの六日間の会期で村議会定例会が開かれ、十二の議案と同意案件一件が上程され原案どおり可決されました。また、一般質問は二人の議員がいたしました。定例会の主な内容は、次のとおりです。

#### 一般質問(要旨)

##### 住民の期待する

##### 村づくりについて

議員(質問)

村では、全村的な簡易水道整備事業を計画しておりますが、施工年度の決まらない状況の中、総合体育館の建設や老人福祉センターの建設・若者定住促進住宅の建設など、村の将来を左右しかねない大きな事業が計画されていますが実施にあたっては、行政サイド的な考え方に固執せず民意を反映した住民が期待する施設の誕生を望みますが、どのようにして取り組むのか。



村民の声に耳を傾け取り入れていきたい



酒井村長(答弁)

日頃の行政を進める中で、村民との直接対話の中で常に村民の声に耳を傾け、村民が何を望んでいるか、声なき声を真剣にあらゆる面で受け止めて参りたい。こんな姿勢で常に望んでいます。

具体的には、総合体育館について村の生涯学習における拠点としての役割を大きくかけており、村の活性化につなげていきたいと考えています。福祉センターについては、村にどのような施設がもっとも適当か、研究しながらやっていきます。村営の若者住宅については水の安定確保が必要で、これらが進みつつあるので若い人達、議会を通じて、村民の考えを取り入れながら前向きに検討していきます。

これから将来に向かって、民間の声が反映できるよう特別な審議機関

##### 地籍調査について

議員(質問)

村では平成元年から地籍調査を始めましたが当初の説明では村全体の調査が終わるまで、調査に基づいた面積での課税はしないというところで種芋原地区から始めましたが、事務上の関係で再来年あたりから新台帳に基づく課税をしたいという話ですが、どのような方法で行うのか。



酒井村長(答弁)

土地の高度利用を高めるため、それぞれの土地の所有を正確にして、今のうちに整えておきたいというところで、昭和六十三年より取り組まされた調査では、税金を取るための調査ではなく、いろいろな面に正確に使えるもので個人の財産も守られます。説明の過程で課税の問題も出ましたが、基本的には全域終了後に課税するという考えで、ただし調査によって新しい台帳が出来ていく、一方はそのまんま。いつまでも二種類の帳簿でやっていけるかどうか、他町村の課税状況等の問題

##### 地域の意向を踏まえて

議員(再質問)

地域への説明会は、何時どういふふうにするというところまでは至っておりませんが、いずれ区長さんと連絡を取りながら、地区の役員の方々の御意向を踏まえて対処したいと思っております。

さらに地元区長さんと相談しながら、また、地区推進委員会も開催の予定があります。それらの意向を踏まえながら、御理解・御協力をいただける努力をしてまいります。

##### 村条例関係

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

地滑り巡視員の報酬年額を引き上げたものです。

議会議員の期末手当支給に関する条例の一部改正について

期末手当の支給率を〇・一引き下げたものです。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づき職員の給与を改定し、期末手当の支給率を〇・一引き下げたものです。

税条例の一部を改正する条例について

過疎地域活性化計画を定めることについて(詳細は次号)

補正予算関係

一般会計補正予算について、干ばつ対策にともなう補助金(自走式ランマ五七台分)一、七二〇万円などを追加し、歳入歳出三億四、九〇〇万円としたものです。

特別会計(国保・診療所・歯科診療所・簡易水道)四件については、それぞれ原案どおり可決されました。

人事関係

教育委員会委員任命同意

五十嵐正作

さんの任命が同意されました。



五十嵐正作さんの任命が同意されました。





**優ちゃん** **なんてたって**  
 平成4年11月11日生まれ 坂牧 滝衛・美津子さん(長男)  
 —種芋原—  
**アイドル**

こんにちは。名前は女の子みたいけど、毎日元気に遊んでいる男の子です。休みの日に、お父さんとドライブしたり、バイクに乗せてもらうの。こんな僕ですが、よろしくネ!

パティでは、アルコールが入るとカラオケもできるなど盛り上がり、一区切りの記念すべき一日を和やかに楽しんでいました。本年度、銀婚を迎えられた方は次のとおりです。

(種芋原)  
 坂牧常英・フサ 今井雅夫・カツエ 小川六・トキ子 佐藤義一・ちかよ (虫 龜)  
 五十嵐敏雄・初子 佐藤孝一・和子 石原富栄・秀子 五十嵐秀忠・キク 松田栄次・ミツエ

(竹 沢) 星野松永・絹子  
 (山中) 星野由太郎・サツ  
 (橋 木) 畔上進吉・京子  
 (木 籠) 畔上喜一・リイ  
 (小松倉) 小川庫二・勝子

**健康コラム**

今月の担当は 星野医師です。

**長寿社会と入れ歯**

現在、日本人の平均寿命は世界一で、男性約76才、女性約82才となっていますが、これに比べて歯の方の寿命は身体の寿命よりかなり短いようです。早い人で30才代で部分入れ歯、50才ともなると総入れ歯の人が現われはじめます。虫歯や歯周病で歯を失うことを防ぐことも大切ですが、一度失われたものは元にもどりません。そこで長寿社会でいかに上手に入れ歯とつきあうかが重要となってきます。そこで新しく入れ歯を入れた時の注意点をあげてみました。

口の中に異物感があり、歯茎に圧迫感を感じたり、話しづらく、食物が咬みにくかったりします。普通一〜三日程度で慣れますが、一週間位してもそれらがある時は我慢しないで歯科医に削ってもらって下さい。ただし、くれぐれも自分でヤスリ等では削らないで下さい。又食べもの種類や大きさも大切で、柔らかい物から咬むようにして歯茎を慣らして下さい。

**救助訓練を実施**



今冬の安全を 確認

オープンを間近にひかえた十二月九日、古志高原スキー場で救助訓練が行われました。当日は、運行中のリフトが故障し停止したことを想定して、リフトから乗客を救出する訓練に従業員総出で行ない、今冬の安全を確認していました。

3月5日(日) 古志の火まつり

**健康で明るく いたわり合う**

**〔銀婚式講座〕**  
 十一月二十三日、村民会館で銀婚式が行われました。今年の対象者は昭和四十四年四月から昭和四十五年三月に婚姻届をした一四組二十四人です。この日は「銀婚式のための成人講座」を四回にわたって受講された一五人の方々が出席しました。

式典は酒井村長の式辞後、銀婚式を迎えられた方々に記念品の贈呈が行われ、続いて来賓の青木副議長や講師を助めていただいた中越教育事務所の熊倉社会教育課長などからお祝や激励の言葉が贈られました。

また、出席者を代表して星野松永・絹子さん夫婦が「銀婚式講座が行われ、各講師先生からこれからの人生に役立ついろいろな事を学ぶことができました。・・・これからは、ますます国際化社会、高齢化社会が進むなかで、私たち夫婦は豊かな自然に恵まれた郷土に誇りを持ちながら、健康で明るくいたわり合うことを誓います。」と言葉を述べました。

アトラクションでは、栃尾ゾリステンの皆さんによる室内演奏などが披露され、熱心に聞き入っていました。



パーティーでは、アルコールが入るとカラオケもできるなど盛り上がり、一区切りの記念すべき一日を和やかに楽しんでいました。本年度、銀婚を迎えられた方は次のとおりです。

(種芋原)  
 坂牧常英・フサ 今井雅夫・カツエ 小川六・トキ子 佐藤義一・ちかよ (虫 龜)  
 五十嵐敏雄・初子 佐藤孝一・和子 石原富栄・秀子 五十嵐秀忠・キク 松田栄次・ミツエ

(竹 沢) 星野松永・絹子  
 (山中) 星野由太郎・サツ  
 (橋 木) 畔上進吉・京子  
 (木 籠) 畔上喜一・リイ  
 (小松倉) 小川庫二・勝子

**シーズン到来! スキースポーツ結団式**

雪の便りがあちこちと聞こえてくるなか、十一月二十七日スキースポーツ少年団の結団式が村民会館で行われました。

スキースポーツ少年団員は五〇名で、古志高原スキー場をホームグレンデとして週三回活動を行います。当日は、うっすらと初雪が積もりスキー場の結団式に相応しい日となりました。

式には団員と保護者をはじめ、指導者が出席しました。本部長のあいさつに続き指導者の紹介が行われ、最後に団員を代表して関丈史君(東竹沢小学校)が「ぼくは



ちスキースポーツ少年団員は、指導者の教えを良く聞き、ルールを守り身体をきたえ、スキーの上達に努力します。」と誓いの言葉を述べ、これからの活躍を全員で確認しました。

**親子ふれあい教室**

おかあさんの味を学ぶ

十一月二十七日、平成六年度「親子ふれあい教室」が村民会館調理室で開かれ、六組一七名の親子が参加しました。

調理実習と会食を兼ねたもので「野菜いっぱいオムレツ・菜の花ボール・ちぎってサラダ・りんごキャラットジュース・まんまるずし・レタスカップずし」の実習をおして、親子のふれあいやおかあさんの味を学び思い出を作りま

す。

食生活改善推進員の協力を得ながら、各グループに別れて献立を決め実習に入りました。お母さんは手際よく材料を刻み、子供たちも慣れない手つきでしたが、楽しそうに調理方法を学んでいました。出来上がった料理はオムレツ・サラダ・すしなど子供たちの好きなものばかりで、会食の時は一段とにぎやかになり、心と心のふれあいたし料理を美味しく食べていました。

- 第34回全国農林水産祭参加 新潟県錦鯉品評会入賞者(優勝)**
- 期日 平成6年10月29・30日  
 ○場所 小千谷市 錦鯉の里 (順不同・敬称略)
- ▼部優勝(県知事賞)  
 第15部 銀鱗三色 山古志漁協  
 第20部 ドイツ三色 山古志漁協  
 第70部 三 色 五十嵐千人
- ▼優勝一席  
 関幸作 白写り・白写り  
 山古志漁協 大和錦・五色三色  
 五十嵐正作 白写り  
 星野武正 別甲
- ◎養鯉場 〇ドイツ昭和  
 (南山松養鯉場) 変わり昭和・変わり  
 星野久市 〇紅白 磯新 銀鱗昭和
- ▼優勝二席  
 坂牧雅良 〇ドイツジャク・白写り  
 星野要一 〇三色・変わり  
 山古志漁協 〇昭和三色  
 星野重行 〇菊水 星野武正 〇浅黄丸新 〇ドイツ三色・変わり  
 松田松夫 〇銀鱗紅白  
 橋養鯉場 〇白写り  
 (南山松養鯉場) 〇銀鱗昭和
- ▼優勝三席  
 関幸作 〇白写り 坂牧雅良 〇三色  
 五十嵐助一 〇銀鱗昭和  
 五十嵐弘一 〇五色 ◎養鯉場 〇紅白  
 山古志漁協 〇九紋竜  
 渡辺一治 〇白写り・衣  
 松田松夫 〇銀鱗昭和

110番 あなたの街のディフェンダー

- ★事件事故を見たとき
- ★ドロボー等の被害にあったとき
- ★倒れている人を見たとき
- ★押し売りがきて困っているとき
- ★急いで警察に知らせたいことがあるとき

〈長岡警察署〉